

## 共謀罪法案の強行採決に強く抗議し、安倍内閣の退陣を求める

安倍自公政権は本日6月15日未明、参議院法務委員会での採決をも省略する異例な形で本会議を開催し、共謀罪法案を数の力で強行採決・成立させた。

我われは、法案強行に強く抗議するとともに、安倍内閣に対し、すみやかに退陣することを求めるものである。

共謀罪法の最大の目的は、「テロ対策」などではなく、労働組合や平和・民主、環境・人権団体など、ときの政権・政治に異議をのべる団体・個人の発言や行動を規制し、国民の反対運動や世論を抑えて憲法9条の改悪を成し遂げるところにある。

JMITUは今後引き続き、共謀罪法の廃止をめざしたたかう。同時に、思想信条の自由、内心の自由、言論・表現の自由をまもりぬくためにたたかう。安倍内閣がねらう憲法9条改悪を断固として阻止し、安倍内閣を打倒するために全力をあげたたかうものである。

2017年6月15日 JMITU 通信産業本部 執行委員長 宇佐美 俊一